

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	榊原 弘朗	学校名	愛知県豊田市立畝部小学校
実施学年	小学3年	教科	社会
単元名	くらしを守る		

《学びを深めたいポイント》

本単元は、自分たちのくらしを守っている防災学習の単元である。本取組は、火事から身を守る防災設備が身近にあることを知り、防災への関心意欲が向上することを目的としている。前時では、校内にある防災設備を調べて回った。意外とたくさんの防災設備があることを知り、校内だけではなく、校外に出て防災設備を調べてみたいという意欲につながった。そこで、グーグルアースを利用し、学区内を自由に探索し、どんな場所にどのような防災設備があるのかを調べることにした。



防火水そう



ホースかくのう箱



消火栓のかん板



消火せん

本時では、同じ通学団の児童同士と一緒に校区の散策をすることで、自分が見つけられなかった箇所をや入り組んだ路地を協力して散策することができるようにする。また、見つけた設備を同時編集でマップにプロットすることで、自分たちが住んでいる地域全体の状況を把握できるようにする。

《SKYMENU 活用のポイント》

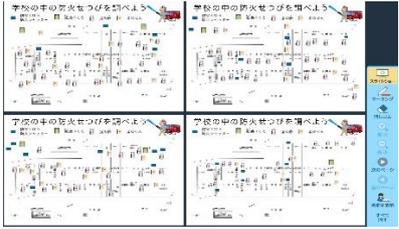
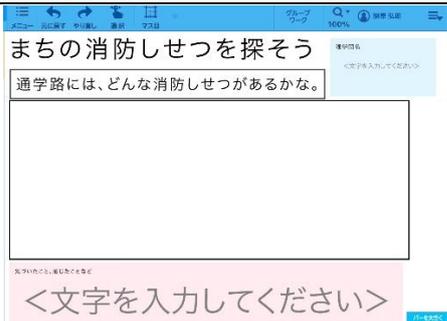
児童たちは、同じ通学団の子と一緒に探した防災設備を記録するために、発表ノートに記録を残していった。同じ場所で発見したものは、共同編集で写真(スクリーンショット)を共有してよいとした。

次に、個々で調べた内容を共有するために、発表ノートのグループワーク機能を使い、マップ上に

設備をプロットしていった。プロットする際は、名前は書かず、分かりやすい記号を使用するようにした。資料置き場を利用し、だれでもいくつでも図を持ってこれるようにした。マップアプリを利用して学校の東西南北の地図を用意し、自分が調べた地区にプロットしていくこととした。



《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>1. 前時に行った校内の消防設備図についての振り返りを行う。</p> <p>2. 本時の学習課題を確認する。</p>	 <p>○提出箱で比較する。</p>	<p>○前時に行い、提出した校内の消防設備図をスライドショーで比較し、見比べることで、気づいたことを発表させる。</p>
ちいきの防災設備を調べて防災地図を作ろう			
展開	<p>3. グーグルアースアプリを使用し、地域の探索を行う。</p> <p><協働的な学び></p> <p>○同じ通学団の児童同士で相談しても良い。</p> <p>○グループワークを使用し、共同作業をしてもよい。</p>  <p>4. 見つけた防災施設を地図にプロットする。</p> <p>○校区の地図載せた発表ノートを配付し、自分たちの通学路にあたる地域のノートを選択させる。</p> <p>○見つけた防災設備を地図上にプロットし、防災地図を作成していく。</p>	 <p>○グーグルアースで見つけた防災設備のスクリーンショットを張り付ける発表ノートを配付。</p>  <p>○校区の地図を方位ごとに複数用意し、発表ノートに背景画像として張り付ける。</p>	<p>○見つけた防災設備を貼る枠を用意し、発表ノートで配布する。</p> <p>○同じ通学団の自動で一緒に作業をし、上手に見つけることができない子には、グループワークで画像を渡すことができるようにした。</p> <p>○防災設備ごとに記号を用意し、資料置き場に置くことで、好きな時に好きな数だけ使用できるようにした。</p> <p>○クラス全体でグループワークを行い、共同作業とした。</p> <p>○引き続き同じ通学団の児童で相談をしながら作業をすることで、より正確なプロットを行うことができる。</p>
まとめ	<p>5. 本時の振り返りをする。</p> <p>○できた防災地図をながめ、どんな場所にどんな設備があるのかを考える。</p>	<p>○できた防災地図を見て、感想を交流する。</p> 	<p>○いつでも見返すことができるように、グループワークを終了し、完成した地図を自分の端末に保存しておく。</p>

《実践を振り返って》

防災設備の場所について、校内、校外と視野を広げていながら学習をすることで、児童の意識も変化していった。

【校内】こんなにたくさんあることに驚いた。階段のところにたくさんあった。



【通学路】意外なところであってびっくり。交流館や公民館にあった。



【学区】家が多い場所にたくさんあった。田んぼのあたりは少なかった。

はじめは、ただの感想のようなものだったが、どこにあるのか、どんな特徴のある場所にあるのかを考え始める児童が増えていった。次時では、児童からの意見から、なぜ家が多い場所に消防設備が多いのかを考えていこうと思う。

【SKYMENU の活用について】

日頃からたくさん SKYMENU を活用していくことで、文字入力や画像の張り付け、加工のスピードがかなり上がってきたため、内容が盛りだくさんの授業でも、児童がついてこれるようになった。小学校3年生という年齢もあってか、男女分け隔てなく素直に話し合いや共同作業をすることができるため、活動内容以上に盛り上がった授業となった。本時は発表ノートがメインとなったが、今後は気づきメモやシンプルプレゼンを個々で選択し、使用していくような場面を増やしていきたい。